

漬けてよし、焼いてよし、煮てよし、生食にも向く多くの用途がある野菜です。  
自家菜園として野菜を作る時に参考にいただければ幸いです。

#### 1 定植時期と収穫時期

露地栽培 5月上旬定植 6月中旬～11月中旬収穫

#### 2 品種 千両二号、黒陽、千黒2号等。

#### 3 施肥 施肥例 a当たり（100m<sup>2</sup>当たり）

元肥 牛糞堆肥150kg 燐加安14号12kg、過燐酸石灰12kg

（成分量 チッソ2kg、リンサン4.6kg、カリ3.5kg）定植7日前に施用し耕うんする。

ナスの根は深く伸びるので、元肥は畝の中心へ深めに有機質肥料を多めに施しておく。

#### 4 定植

植え方の例 畦幅80cm 通路幅90cm 株間60cm 1条植え

畝の高さは15～20cm程度 10畝980株

定植は第1番花が咲きはじめている頃。茎が太く、葉が厚く、色が濃い下葉の大きい本葉7～8枚の苗を植える。

#### 6 管理

定植したら丈夫な棒で支柱を斜めに立てる。生長に伴い支柱を交差させてもう1本たてる。

1番花（7～8節）の下2節の側枝を伸ばして、その下の側枝は切除し主枝1本、側枝2本の3本整枝とする。

的確な整枝、葉かきを行うことにより風とおしを良くする。

ほ場の排水対策を的確に行い、中耕、土寄せにより雑草を防除する。

秋ナスのために8月上旬に混み合った枝、病害虫のついた枝葉を切除し更新剪定を行い、施肥を入念に行う。

#### 7 追肥（生育状況を見て決める。）

施肥例 7月上旬、8月中旬、9月下旬にそれぞれa当たり（100m<sup>2</sup>当たり）NK化成2号5kg（成分量 チッソ2.4kg カリ2.4kg）

追肥は収穫最盛期になってから草勢を考慮して1ヶ月に1回程度行う。

夏の乾燥に注意し、敷藁、灌水を行う。

#### 8 病害虫防除

灰色かび病、うどんこ病、アザミウマ類が発生しやすいので適宜、薬剤散布をする。

葉かきを行い風とおしを良くする。